

会 議 録 ( 1 )

会 議 の 名 称	令和4年度 第1回入間市社会教育委員会議
開 催 日 時	令和4年6月22日(水) 午後2時開会 午後3時30分閉会
開 催 場 所	入間市教育センター 会議室
議 長 氏 名	齋木 茂
出席委員(者)氏名	北野 晃 内田正俊 佐藤清美 齋木 茂 根岸 桜 小暮欽作 西村めぐみ 村野裕子 山畑雅浩 田辺暁己 森山治代 小関京子 中田一平教育長
欠席委員(者)氏名	後藤 博 野田あさ子 幸森康夫
説明者の職氏名	吉田市民生活部副参事 宮澤企画部副参事 大橋社会教育課主事
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	(社会教育委員会議 すべて公開) 1 開 会 2 委嘱状交付 3 議長あいさつ 4 教育長あいさつ 5 事務局紹介 6 協議事項 (1) 入間市地区センター整備計画について (2) 社会教育関係団体補助金について 7 報告事項 (1) 成年年齢引き下げ後の成人式の名称について (2) 武蔵野音楽大学バツハザールの借用について (3) 各委員からの活動報告 (4) 教育部社会教育担当課からの報告 8 その他 ・次回会議の日程について 9 閉 会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	0人
配 布 資 料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	浅見教育部長、佐藤教育部次長、吉川社会教育課長、 澤田博物館長、平岡図書館長、 片寄社会教育課副主幹、長谷川社会教育課主任、 大橋社会教育課主事、岩崎社会教育課主事補、大久保社会教育指導員

## 会議録(2)

### 議事の概要(経過)・決定事項

- 1 教育長より、社会教育委員委嘱状を北野委員へ交付した。  
※ 事務局紹介後、所用により中田教育長 退席
- 2 協議事項
  - (1) 入間市地区センター整備計画について 市民生活部 吉田副参事  
企画部 宮澤副参事より説明  
※ 協議後、市民生活部企画部職員 退席
  - (2) 社会教育関係団体補助金について 事務局 大橋主事より説明
- 3 報告事項
  - (1) 成年年齢引き下げ後の成人式の名称について 事務局 大橋主事より説明
  - (2) 武蔵野音楽大学パッハザールの借用について 事務局 大橋主事より説明  
※ 北野委員、所用により 退席
  - (3) 各委員からの活動報告
  - (4) 教育部社会教育担当課からの報告
    - ①社会教育課 吉川社会教育課長
      - (i) 報告事項  
・教育委員1名の変更
      - (ii) 配付資料  
・令和4年度 入間市の教育  
・令和3年度 埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会研修集録  
・入間地区社会教育広報「さわらび」 第54号  
・いるまキッズアカデミー  
・入間書人展  
・キッズ・アート・ギャラリー  
・美術展  
・写真美術展
    - ②博物館 澤田博物館長
      - (i) 報告事項  
・「アリットお茶大学」開講について  
・「夏休みこどもお茶大学」実施について  
・「入間市西洋館の日2022」特別イベントについて
      - (ii) 配付資料  
・「NEWS-ALIT」 第104号
    - ③図書館 平岡図書館長
      - (i) 報告事項(なし)
      - (ii) 配付資料  
・図書館だより4月号
- 4 その他
  - ・次回会議の日程について  
第2回 令和4年9月27日(火) 午後1時30分より  
市庁舎501会議室
- 5 閉会

会 議 録 ( 3 )

発 言 者	発 言 内 容
齋木議長 吉田副参事	協議事項(1) 入間市地区センター整備計画について、事務局より説明を願う。 入間市地区センター整備計画を令和4年4月に策定し、これに基づいて、来年度の開設に向けて庁内で協議を進めている。(以下、資料に沿って説明)
宮澤副参事	昨年の計画案パブリックコメントに際し、様々なご意見の提出に感謝する。社会教育委員からの質問に対し、市の考えをまとめた。
齋木議長	説明があったが、公民館機能・自治振興機能に焦点を置き協議したい。地区センターに移行した後も、人づくり・つながりづくり・地域づくりの拠点として機能していくためにはどのような取組が必要か。
齋木議長	意見はどうか。質問はないか。
吉川課長	今、この場で意見が出ないのであれば、後日、社会教育課を通じて意見を聞き、対応したい。
齋木議長	意見があるときは社会教育課に伝えるということでは、そのようにお願いする。
齋木議長 大橋主事	協議事項(2) 社会教育団体補助金について、事務局より説明願う。 資料2ページに社会教育関係団体補助金一覧表があり令和3年度及び4年度の補助金額を表にしてある。これは社会教育法第13条の規定(審議会等への諮問)により、毎年第1回目の会議にて示しているものである。 昨年度から、自立した団体運営を促す観点から、ゼロベースの見直しを行い、補助金額の適正化を進めている。今後の補助金交付の在り方や補助金額について意見を願う。また、補助金の交付を受けずに活動している団体や補助金に頼らない団体運営について事例があればご報告いただきたい。
齋木議長	事務局より説明があったが何か意見はあるか。
齋木議長	補助金がゼロになるという想定はないのか。
吉川課長	補助金の性格上、公益性の観点から真に必要なものに補助していく。団体運営の補助も活動実績が公益に資するかどうかにより交付する。そういった観点から見直しをしている。
齋木議長	補助金のみという団体もあるかもしれないが、運営でマイナス部分への補助というのが補助金の本質である。なんでも補助金頼りのところもある。それが当たり前になってもいけない。市として、補助金の性質を各団体によく理解してもらうのも一つの方法である。
西村副議長	表の左と右は、出すところが違うということでは、いいか。
吉川課長	そのとおりである。スポーツ推進課、青少年課のものは教育委員会から市長部局への移管によるものである。
西村副議長	PTA連合会の減った分が、健全育成会にいったように見えるが。
吉川課長	PTAの所管は社会教育課で、内容を精査して決めた。青少年健全育成推進協議会は令和3年度減額となったが、見直しの中で元に戻した形になっている。PTAの分が健全育成会にいったわけではない。
山畑委員	2ページ9番から14番の郷土芸能団体に博物館が補助しているのは、博物館の行事に参加しているなどの選定理由があるのか。

発言者	発言内容
澤田 館長	博物館から支出している団体は、市の指定無形文化財等の保持団体への補助であり、博物館が文化財保護を所管していることによる支出である。
山畑 委員	市の指定した団体ということか。
吉川 課長	郷土芸能連合会に関しては、入間市文化協会に加入していることから、文化協会の中から一部が補助金として渡っている。
山畑 委員	では、9番から14番の団体には、指定無形文化財に認定されていることから補助しているということか。
吉川 課長	そのとおりである。
齋木 議長	続いて報告事項に移る。(1) 成年年齢引き下げ後の成人式の名称について、事務局より説明を願う。
大橋 主事	令和5年以降の式典の名称について、社会教育委員の意見や近隣市町の名称を参考に検討した結果、「入間市二十歳の集い(いるまはたちのつどい)」で開催する方向で進めている。令和5年1月の式典から変更する。
齋木 議長	よろしいか。では、(2) 武蔵野音楽大学パッハザールの借用について、事務局より説明を願う。
大橋 主事	入間市と武蔵野音楽大学は、包括連携協定を締結した。これにより、入間キャンパス パッハザールの利用を通じた文化芸術の振興、教育及び人材育成に取り組む。今年度は、7月から11月まで10回の借用スケジュールを計画している。
齋木 議長	パッハザールについて特にあるか。
北野 委員	要望として伝えたい。中学校の合唱祭、合唱コンクールが多数入っている。市民会館が使えなくなったことによるものだが、スケジュールの調整が希望どおりでなかった中学校もあり、来年度に向けて検討していただきたい。
吉川 課長	今年度初めての取組であり、調整が3月間際になってしまい、ご迷惑をかけた。来年度について、早めに依頼・日程調整をして余裕を持って行うようにしたい。
森山 委員	借用料は、無料と聞いたが、そうか。
吉川 課長	市が借用料を支出している。
森山 委員	MAX18団体と聞いたが。
吉川 課長	予算的には15団体である。
森山 委員	先着順か。
吉川 課長	先着順ではない。
森山 委員	市で審議して許可ということか。
吉川 課長	対象は、市と市教委が主催・共催、市内の学校、市と共催の市内市民音楽団体に限っていて、市と大学との打ち合わせによって決めている。
森山 委員	来年度の申込は。
吉川 課長	何月かは決まっていないが、秋から冬を予定している。
森山 委員	申し込みはどうしたらよいのか。
吉川 課長	申込書を郵送する。今年度も音楽家協会へ送っている。
小暮 委員	参加する学校の交通手段等は。
吉川 課長	教育総務課予算のバスの借上げ料で対応する。その他は、公共交通機関等を利用している。

発言者	発言内容
齋木議長 村野委員	<p>(3) 各委員からの活動報告を願う。</p> <p>「アイクルフリーベース」は3年目の活動である。中学生以上に、週1回金曜日夕方に開放している。15人から20人程度の中高生が集まっている。それぞれが好きなことをしている。勉強、ボードゲーム、おしゃべり、踊り、など。今年度からフードバンクや近隣の農家から食材をもらって調理をしている。他の材料は、こども食堂ネットワークの助成金を活用している。参加するのは近くの中高生が多いのだが、最近、近隣や他市からの問い合わせが相次いでいる。こういう子がいるが参加できるか、不登校の子が参加できるか、家庭で食べるのに困っている子がいるかどうか、など。誰でもよいと答えている。参加している子の中に、不登校や問題を抱えている子も三分の一程度いる。そういった子が行ける場所が市内に少ない。スペースの問題もあり、全員を受け入れられるかわからない。子育て支援センターのスタッフがやっているの、専門家もいない。そういう専門家のいる場所が入間市にできてほしい。</p>
佐藤委員	<p>残念ながら、茶道もコロナのため、活動ができていない。計画していたがほとんど中止となり、唯一できたのが茶席体験だが、飲むのもなしというのが現状。7月10日に茶道連盟の活動として、意見交換、話し合いを行う。高齢化もあり、このままでは、日本の文化である茶道も消滅するのでは、と危機感がある。入間市の場合、狭山茶の産地なので、待っているだけではなく、何か考えなければいけない時期にきている。茶道だけではどうにもならないので、業者の方や産業界の方とタイアップしてやっていく方向を相談したい。</p>
根岸委員	<p>こども会では、1月にコロナでかたるた大会ができず、3月にミニ大会を企画した。参加者20名程度、ジュニアユースの役員18名、保護者19名の57名で行った。小ぶりの大会だが、3年ぶりに開催できた。9月にジュニアリーダーの中高生を対象にした研修会を予定している。</p>
村野委員	<p>こども食堂ネットワークいるまの総会が来週ある。昨年度より増えて、現在、19団体が加入している。市内企業や個人から寄付をいただき、1回の活動に5,000円ずつ助成金を出している。ランチお届けプロジェクトという、給食がない時に困っている子供たちにむけたランチサービスのようものを、冬に開催することを決定していて、夏と春は検討中である。</p> <p>埼玉県こどもの居場所づくりアドバイザーをしている。もし、居場所づくりに困っている方がいたらお声かけください。</p>
田辺委員	<p>幼稚園会では、5月に園長会総会を行った。年度当初、新型コロナウイルス感染症の陽性者が出たが、概ね順調にスタートした。2回目の園長会も予定している。今年こそは、市内幼稚園の先生方の研修会を開きたい。コロナ対策については、ほぼ同じような歩調であり、どの幼稚園も感染予防対策に十分気を付け、保育に支障のないようにしている。本園でも、感染症対策を継続し、3密の回避、検温・消毒をしっかりやる。園行事は、一律中止ではなく、できることをやっていく。6月の保育参観は、部屋ではなく園庭でクラスごとに入れ替えて行った。玉ねぎ栽培は、今年は年長だけできた。工場見学も、クラスごとに分散して実施した。6月1日からマスクを外すことにした。1週間試行期間を作って行った。子供たちの顔をまじまじと見たが、本当に生き生きとしていた。</p>

発言者	発言内容
森山委員	<p>教育実習生だが、話を聞くと、仲間関係ができていない状態で来ている。幼稚園としては、温かく受け入れている。40の大学と県下の園長60名でZoomでの研修を行った。話題にあがったのが、新しく幼稚園の先生になった人で早期に退職している人が多く、3年間で、だいたい3割辞めるということである。</p> <p>入間市に児童発達支援センターがあるが、とても助かっている。先日も、ある園児について、個性か障害か分からず困っていると電話したら、すぐ訪問してくれた。そのおかげで、専門の医療機関につなげることができた。感謝したい。</p> <p>音楽家協会では、3月にスプリングコンサートを狭山市市民会館で開催した。西洋館で7月9日に3ステージ行う。9月11日にオータムコンサートを武蔵ホールで予定している。来年、2月19日に所沢市市民会館でスプリングコンサートを開催する。市民会館が使用できないので、近隣でやらざるを得ない。真剣に考えていかないと、毎回他で行うことになる。</p>
小関委員	<p>映画「ラストサマーウォーズ」で、和太鼓の指導、曲作りに関わった。6月24日公開になる。太鼓セッションを、去年中止になったが今年やることになった。9月11日に開催する。感染症対策が大変だが、よければ足を運んでいただきたい。</p> <p>学校外の学び場「いろいろダネ」について、村野委員のお仕事と同じようなものだと思うが、NPO法人マナビダネを4月に立ち上げて活動している。学校にどうしてもなじめない子たちの学びの場を作りたいとお母さんと子どもと一緒に活動している。もとは「えじそんくらぶ」で活動していたが、子どもも何か思っているはずと考え、子供たちの学びの場を作りたいということで、親が中心になって始めた。こういう会があることを知ってもらいたい。</p>
内田委員	<p>豊岡高校では、2年生で、青年会議所と共同で、総合的な学習の時間を使って「SDGsとまち」に取り組み、最終的にはまちづくりのプレゼンをする。今年2年目になる。昨年、入間市の工業会主催のオープンファクトリー入間で、クラス代表がプレゼンを行った。工業会会長や市長から指導・コメントをいただいた。生徒にとって深い意義があった。</p>
西村副議長	<p>施設開放について、テニスコート、野球のグラウンドを地域の方に開放している。一時期コロナのため中止したが、再開したので、希望があれば使っていただきたい。</p> <p>読み聞かせなども子供の前に立って喋らなければならず、スタッフも高齢のため、コロナが怖いなどというのがあり、去年中止していた。今年も始まってはいないが、コロナが収まればまたできるようになるかなと思っている。</p>
齋木議長	<p>コロナ禍の中、委員の皆さん、数多くの活動をされている。これからもよろしく願います。次に報告事項(4)教育部社会教育各課からの報告をお願いします。</p>
吉川課長	<p>河村委員が退任され、齋藤委員が4月より教育委員となった。高山委員が教育長職務代理人となった。</p>
澤田館長	<p>博物館では、今年度の「アリットお茶大学」はすでに始まっている。地域を知る、お茶を楽しむを目的としている。地域で活動している方を講師に全10講座を予定している。定員500名に797名の申込があり抽選を行った。NEWS-ALITだが、夏休みに予定しているこどもお茶大学の記事である。8月4日から3日間実施する。7月7日は入間市西洋館の日として事業を展開している。7月1日七夕に合わせたライトアップ、7月7日無料開放、7月9日入間市音楽家協会の協力を得て、</p>



